

河川改修事業の効果(津保川)

氾濫をできるだけ防ぐ・
減らすための対策

◇令和5年8月台風第7号では、平成11年9月出水と同等以上の雨量であったが、浸水対策重点地域緊急事業(R1～)の河道掘削工・護岸工等により、関市下之保地区(25.4k付近)において、改修前の断面と比べ**約0.6mの水位を低下**させることができ、**浸水被害は発生しなかった**。

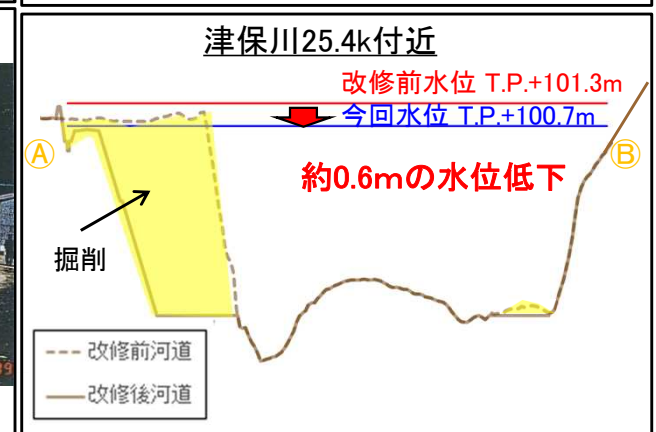


平成11年9月洪水による被災状況

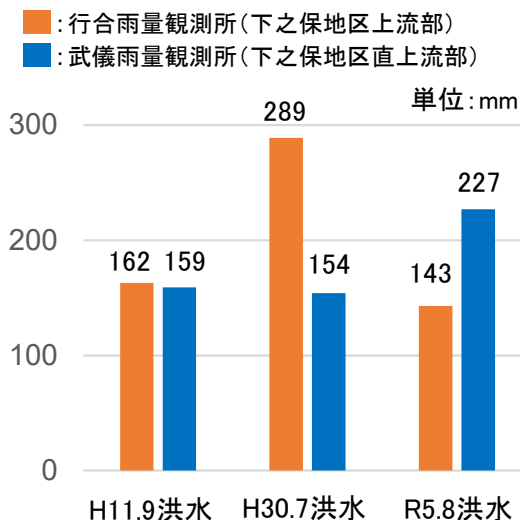


下之保地区浸水状況

水位低下効果



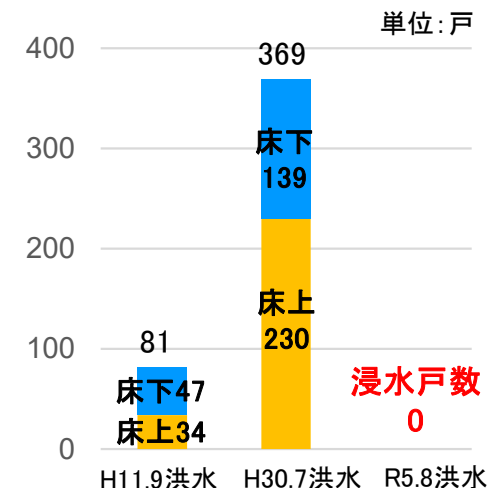
雨量(24時間雨量)



※H11年度洪水は流域平均雨量で算出された雨量

浸水戸数

※津保川流域全体



※本資料の数値は、速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。